

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市宮前スポーツセンター	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 フクシ・ハリマ共同事業体 ・代表者名 福土 昌 ・住所 東京都江東区大島一丁目9番8号	評価者	宮前区役所地域振興課長
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	所管課	宮前区役所地域振興課

2. 事業実績

利用実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29年度</td> <td>27,158</td> <td>27,443</td> <td>26,029</td> <td>24,002</td> <td>21,483</td> <td>32,033</td> <td>37,492</td> <td>31,848</td> <td>21,382</td> <td>17,602</td> <td>24,504</td> <td>24,438</td> <td>315,414</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>24,359</td> <td>21,750</td> <td>21,654</td> <td>27,003</td> <td>24,264</td> <td>29,397</td> <td>29,768</td> <td>30,815</td> <td>17,307</td> <td>20,136</td> <td>31,593</td> <td>24,873</td> <td>302,919</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>23,292</td> <td>20,834</td> <td>22,409</td> <td>24,000</td> <td>20,118</td> <td>28,363</td> <td>33,001</td> <td>24,390</td> <td>19,287</td> <td>25,970</td> <td>23,865</td> <td>21,622</td> <td>287,151</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td>18,358</td> <td>25,906</td> <td>21,959</td> <td>21,941</td> <td>21,638</td> <td>22,423</td> <td>27,657</td> <td>21,588</td> <td>15,935</td> <td>26,210</td> <td>38,486</td> <td>24,335</td> <td>286,436</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>14,524</td> <td>15,145</td> <td>20,017</td> <td>20,503</td> <td>14,752</td> <td>23,650</td> <td>17,546</td> <td>23,806</td> <td>14,122</td> <td>14,299</td> <td>21,706</td> <td>30,420</td> <td>230,490</td> </tr> </tbody> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	29年度	27,158	27,443	26,029	24,002	21,483	32,033	37,492	31,848	21,382	17,602	24,504	24,438	315,414	28年度	24,359	21,750	21,654	27,003	24,264	29,397	29,768	30,815	17,307	20,136	31,593	24,873	302,919	27年度	23,292	20,834	22,409	24,000	20,118	28,363	33,001	24,390	19,287	25,970	23,865	21,622	287,151	26年度	18,358	25,906	21,959	21,941	21,638	22,423	27,657	21,588	15,935	26,210	38,486	24,335	286,436	25年度	14,524	15,145	20,017	20,503	14,752	23,650	17,546	23,806	14,122	14,299	21,706	30,420	230,490
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)																																																																							
29年度	27,158	27,443	26,029	24,002	21,483	32,033	37,492	31,848	21,382	17,602	24,504	24,438	315,414																																																																								
28年度	24,359	21,750	21,654	27,003	24,264	29,397	29,768	30,815	17,307	20,136	31,593	24,873	302,919																																																																								
27年度	23,292	20,834	22,409	24,000	20,118	28,363	33,001	24,390	19,287	25,970	23,865	21,622	287,151																																																																								
26年度	18,358	25,906	21,959	21,941	21,638	22,423	27,657	21,588	15,935	26,210	38,486	24,335	286,436																																																																								
25年度	14,524	15,145	20,017	20,503	14,752	23,650	17,546	23,806	14,122	14,299	21,706	30,420	230,490																																																																								
収支実績	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">収入</td> <td>指定管理委託費</td> <td>34,014,378</td> </tr> <tr> <td>利用料金収入</td> <td>30,540,580</td> </tr> <tr> <td>事業収入他</td> <td>45,614,168</td> </tr> <tr> <td>収入合計(円)</td> <td>110,169,126</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">支出</td> <td>管理運営費</td> <td>103,783,261</td> </tr> <tr> <td>支出合計(円)</td> <td>103,783,261</td> </tr> <tr> <td>収支差額(円)</td> <td>6,385,865</td> </tr> </table>	収入	指定管理委託費	34,014,378	利用料金収入	30,540,580	事業収入他	45,614,168	収入合計(円)	110,169,126	支出	管理運営費	103,783,261	支出合計(円)	103,783,261	収支差額(円)	6,385,865																																																																				
収入	指定管理委託費		34,014,378																																																																																		
	利用料金収入		30,540,580																																																																																		
	事業収入他		45,614,168																																																																																		
	収入合計(円)	110,169,126																																																																																			
支出	管理運営費	103,783,261																																																																																			
	支出合計(円)	103,783,261																																																																																			
	収支差額(円)	6,385,865																																																																																			
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●近隣に店がないため、利用者から軽食販売の要望があったので、お菓子の自動販売機を導入するとともに、菓子パン等の軽食販売を開始した。 ●DeNA陸上部と共催したランニングクリニック、もちつき大会、小学生向けボルダリング体験会、夏休み・春休み特別体育教室、応急手当講座、栄養食品講座の開催など様々なイベントを行うことにより、来館者へ利益の還元を行った。 ●施設利用回数券は、家族でも利用しやすい110円券12枚綴りを1,100円で販売し、利用者の利便性向上を図っている。(施設利用料金:大人220円、小人110円) 【10,447組販売】 ●近隣利用者の協力を得て、季節ごとに花、盆栽の展示を行い、華やいだ雰囲気を出した。 																																																																																				

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	6	4	4.8
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	6	4	4.8
当初の事業目的を達成することができたか					
(評価の理由) 【利用者満足度】 ●ホームページ、フェイスブック、意見箱等による受動的な方法、外部委託アンケート調査による能動的な方法により利用者満足度の測定を行い、収集した意見には、必要に応じて所管課と連携を図り、即時対応を徹底した。アンケート調査による満足度は90パーセントを超えていて、前年度調査における満足度77パーセントから向上している。 【事業成果】 ●公の施設の運営者として、川崎市の施策を十分に理解し、若い世代対象のスポーツ教室だけではなく、高齢者を対象とした介護予防プログラム、子どもの体力向上、運動への関心を高めるプログラム等、幼児から高齢者まで年齢や利用目的に合った教室を開催するとともに、高齢者向けの施設開放イベント等を行った。スポーツ教室については、教室ごとにアンケート調査を行い、利用者の意見を講師に伝えている。その結果、年間の利用者数は、昨年度比で約104パーセントであった。					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	6	3	3.6
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	6	4	4.8
収入増加のための具体的な取組が為されているか					
適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	4	3	2.4	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) 【収入の確保】 ●利用料金改定(1割値上げ)があり、収入増が見込まれるという理由で、指定管理料が約160万円減額になったにも関わらず、利用者ニーズを的確に捉えることにより、昨年度より約12,000人多い利用者が来館し、その結果、前年度より約140万円多い収入を確保した。 ●利用者の要望を取り入れ、プロテイン等の栄養補助食品を小分けで販売するとともに、ケガ防止につながるデザインにも優れたテーピングテープ、カイロやマスク等の季節に合った商品の販売を行った。					

サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供(施設の利用提供)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4	4.8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切なサービスの提供(トレーニング室を含む個人開放事業)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4	4.8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切なサービスの提供(教室事業)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3	3.6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切なサービスの提供(地域との連携、提案事業等)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4	4.8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
業務改善によるサービス向上	実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	8	4	6.4	
	業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか				
	業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか				
利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	8	4	6.4	
	意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)				
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由)					
<p>【適切なサービスの提供(施設の利用提供)】</p> <p>●大体育室は96.7パーセント、小体育室は87.6パーセントと非常に高い稼働率となっているが、大体育室の半面利用及び小体育室の利用については、3日前までにキャンセルするとキャンセル料が発生しないため、利用日直前にキャンセルが発生することがある。常時2日間分の利用予定を掲出しているが、キャンセルが発生した際には、利用団体に口頭でも案内している。また、月ごとの大会による体育室、駐車場の貸切状況及び駐車場の混雑予想をホームページで公開している。</p> <p>【適切なサービスの提供(トレーニング室を含む個人開放事業)】</p> <p>●利用者の意見を参考に、フリーウェイトゾーンの拡充、テレビモニターの更新等を行った結果、トレーニング室については、利用者数が昨年度より約2,000人増加した。スポーツデーについては、バスケットボールにおいて親子利用専用コート拡充、パドミントンにおいて単身利用者に対してスタッフが相手を務めるなどした結果、前年度比106パーセントの利用があった。</p> <p>【トレーニング室利用者数】平成28年度 65,908人、平成29年度 67,869人</p> <p>【適切なサービスの提供(地域との連携、提案事業等)】</p> <p>●3月の利用者還元イベント「宮スポフェスタ」では、宮前区出身のアスリートによるBMXデモストレーションや、区内総合型地域スポーツクラブ・市内プロレス団体と連携した防犯教室の開催、パドミントン・卓球・バスケットボールのスポーツデー無料開放、ショートタイムスポーツ教室無料体験、ボールドリング親子体験等を行い、約2,000名の来場があった。</p> <p>【業務改善によるサービス向上】</p> <p>●宮前スポーツセンターにはプールがないため、夏場に大型のビニールプールを設置し、幼児向けに開放した。9月には初の試みとして、通常区役所で開催されている「ロビーコンサート」を区民サロンで開催し、来館者に楽しんでいただいた。また、12月には川崎市の人口が150万人を突破したのを記念し、川崎市発展の礎を築いたシニア世代対象の無料開放イベントを開催した。</p> <p>【利用者の意見・要望への対応】</p> <p>●通常3か月間で行っているスポーツ教室で人気の高かったヨガ教室について、当日1回限りで参加可能なショートタイムスポーツ教室でも受講可能とした。また、要望が多かった、ジュニアテニス教室について新たに開講した。さらに、通常のスポーツ教室で受講を迷っている利用者向けに、1回のみ参加出来るお試し体験の制度を導入した。その結果、スポーツ教室受講者数は前年度比112パーセントであった。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	8	4	6.4
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか			
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	8	3	4.8
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	3	2.4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか				
(評価の理由)					
<p>【適正な人員配置】</p> <p>●毎日8時間トレーニング室にトレーナー2名を配置することにより、利用者のマシン利用状況を的確に把握し、利用者が安全に安心してトレーニングできるよう配慮した。また、外国人利用者向けに、英会話に長けたスタッフを2名採用するとともに、当該スタッフが不在時も対応できるようタブレットを配備した。</p> <p>【担当者のスキルアップ】</p> <p>●本社のトレーニングサポート係が随時研修を行っていて、効果測定を終了したスタッフのみが教室の指導者となることにより、質の高いスポーツ教室を開催している。</p> <p>●館長、副館長が初級障害者スポーツ指導者養成講習会に参加して資格を取得し、障害をお持ちの方が来館しても適切な対応が取れる体制となっている。</p>					

適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	4	4.8
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	6	4	4.8
	外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>【清掃業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●開館前に集中して人員を配置し、共用部分の清掃を完了させるとともに、1時間ごとにスタッフが巡回し、土足入場者、ゴミの放置、清掃状況等のチェックを行い、利用者に小まめに声かけを行うことにより、開館から10年以上経過しているが、きれいな状態が維持されており、利用者の満足度向上につながった。 <p>【外構・植栽管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●植栽管理専門会社による定期作業に加え、運営スタッフによる日常的な作業を行うことにより、美観維持を図った。また、薬剤散布を極力減らし、剪定・捕殺による作業を行うことにより、周辺環境へ配慮した。 <p>【備品管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●利用者から要望のあった消耗品については、速やかに更新を行った。また、備品管理においては、写真付きの台帳を整備し、備品の所在が一目で確認できるようにした。 					

4. その他加点

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
その他加点	市の政策課題への取組	「かわさきパラマウント」に関連する取組を行っているか	5	4	4.0
	<p>(評価の理由)</p> <p>【市の政策課題への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●他のスポーツセンターに先がけ、ホームページ内にバリアフリー情報をまとめたページを作成し、障害をお持ちの方が施設を利用し易いよう配慮を行った。 ●スポーツデーの卓球では、車椅子利用者向けの優先台を設けている。 ●体育の日記念事業において、サウンドテーブルテニスの体験会を開催した。 ●犬蔵中学校の生徒向けに、車椅子バスケットボールの体験授業を行った。 				

5. 総合評価

評価点合計	78.4	評価ランク	B
-------	------	-------	---

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<ul style="list-style-type: none"> ●所管課と定期的な業務報告の場以外にも、随時打合せの場を持ち、連携してサービスの向上に努め、スポーツセンターの設置目的にかなった運営がなされている。 ●四半期ごとに開催のスポーツ教室の回数を10回からへ12回変更、トレーニング室で無料開催するミニセミナー種目の13種目から16種目へ変更、ボルダリングコースの変更など利用者ニーズに応える様々な工夫を行うことにより、年間利用者数を前年度比で約12,000人増加させた。 ●大学生のインターンシップ受入れ、中学生の職場体験の受入れ、小学生の生活科町探検への協力、総合型地域スポーツクラブの支援、地元出身プロ選手の紹介など地域と連携した取組みを行い、公共施設として、宮前区でのスポーツ普及に貢献している。 ●5月にスタッフ参加の防災訓練開催、11月に犬蔵中学校との防災訓練に参加、2月にはスタッフに加え利用者も参加した防災訓練を行うなど、高い防災意識を持っている。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<ul style="list-style-type: none"> ●トレーニング室利用者数が11月頃から伸び悩んでいるので、原因を究明し、対策を講じること。 ●施設オープンから10年以上経過していることを考慮し、区民の方々が安全に安心して快適に施設を利用出来るよう、所管課と連携し、計画的な保守管理を行い、施設の維持管理に努めること。 ●地域コミュニティの場として、施設を利用しない区民でも気軽に立ち寄ることができ、その方たちが健康維持やスポーツに興味の持てるような運営に努めること。 ●利用者ニーズを見極め、運動を始める機会づくりや継続が可能となるよう、指定管理者の持つノウハウを最大限活用した事業を実施し、多くの区民がスポーツに親しめる運営を行うこと。 ●今後も総合型地域スポーツクラブや地域のスポーツ団体などの支援を行い、地域に根付いた運営を行うこと。 ●高齢社会に対応し、いつまでも元気に自分の足で活動できるよう、体力の持続に向けた事業を今後も行うこと。
